

2025年度決算の概要

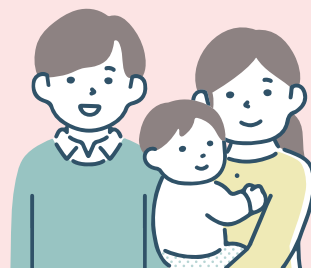
2025年度決算は、保険料率を108.03%としました。収入の軸となる保険料は、被保険者数および総標準賞与額の減少により、前年度決算比1億2,685万円減の18億8,108万円となりました。支出では、高齢者医療制度への納付金と同6,373万円減となったものの、みなさまの医療費などに充てられる保険給付費が同7,720万円増となりました。

以上のことから、経常収入は18億9,870万円、経常支出は22億4,784万円となり、経常収支差引額では3億4,914万円の赤字となりました。繰入金2億2,970万円を取り崩し、決算全体の収支差引額は9,841万円の黒字となりました。

健康保険組合を取り巻く状況

健保連発表の令和8年度健保組合予算早期集計結果の概要によりますと、赤字組合数は1010組合で全体の約7割に上り、健保組合全体で経常収支差引額は2,890億円の赤字が見込まれています。

経常支出の約4割を占めるのが納付金で、健保組合全体では3兆9,796億円（前年度予算比873億円増）となる見通しです。今後、物価・賃金の上昇を反映した診療報酬改定等の影響により医療費の増加が見込まれ、現役世代の減少によって被保険者1人あたりが負担する納付金も増加していく見込みです。報酬総額の伸びを超える水準で納付金や医療費が伸びていくため、将来的な保険料率引き上げは避けられません。中長期的な視点に立った高齢者医療費の負担のあり方そのものを見直していく必要があります。



介護保険

2025年度は介護保険料率を19.2%とし、介護保険収入は2億3,759万円となりました。支出では、介護納付金1億7,239万円となり、差し引きでは6,540万円の黒字となりました。



収入総額

23億6,479万円

その他経常外収入 2億3,639万円

繰入金 2億2,970万円

その他経常内収入 1,762万円

保険料 18億8,108万円

経常収入
18億9870万円

経常収支で
3億4,914万円の
赤字

支出総額

22億6,638万円

経常外支出 1,854万円

その他経常内支出 6,624万円

保健事業費 1,562万円

納付金 10億3,849万円

保険給付費 11億2,749万円

経常支出
22億4784万円

健康保険

決算基礎数値

- 被保険者数 4,389人
男性 443人
女性 3,946人
- 平均年齢 45歳
男性 44歳
女性 45歳
- 被扶養者数 827人
- 前期高齢者加入率 0.92%
- 保険料率(調整保険料率含む)
108.03/1000



介護保険

決算基礎数値

- 介護保険第2号被保険者数 3,001人
- 介護保険料率(事業主・被保険者折半)
19.20/1000

決算の概要

収入

科目	決算額
介護保険収入	2億3,759万円
雑収入	20万円
合計	2億3,779万円

支出

科目	決算額
介護納付金	1億7,239万円
合計	1億7,239万円